

## 県立あしきた青少年の家



芦北町鶴木山の半島は、熊本県南部の八代市と水俣市の間に位置する八代海沿岸に面し、海岸線近くまで迫り出した丘からは、対岸の天草諸島を望むことができる。

遠くギリシャのエーゲ海にたとえられるような恵まれた海と緑豊かな自然環境をもつ敷地に青少年の教育環境に対応するよう、幅広い集団生活・活動・研修を通しての青少年の育成とともに県民の生涯学習活動の支援を目的として計画された。

自然に恵まれた敷地の条件を最大限に活かすため、西側の八代海に向けての眺望を考慮し、既存の敷地の地形、特に北側の稜線を可能な限り残すよう計画された。

### ●建築データ

名称	県立あしきた青少年の家
ふりがな	けんりつあしきたせいしょうねんのいえ
所在地	葦北郡芦北町大字鶴木山地内
主要用途	研修宿泊施設
事業主体	熊本県
設計者	エリア・ゼンゲリス+エレニ・ジガンテス+鈴木了二+島村建築設計事務所
施工者	
建築	和久田建設 田中組 沢井建設 木村建設 大同組 前島建設 松下組 速永工務店
電気	白鷺電気工業 人吉電気工業 新星電気 日立製作所 太陽電気 立尾防災ユーテックスシラサギ
機械	広誠設備工業 誠工社 旭電業 西日本システム建設 荒木商店 旭設備工業 E. S. P
外構	佐藤産業
敷地面積	125,443.00m <sup>2</sup>
施工期間	1997年3月～1998年6月
総工事費	3,957百万円



■管理・研修棟

■体育館



### ●建築概要

構造、素材、形状を単純化し、敷地の海への傾斜を建物に反映させ視線を海に向かって確保することを意図した。建物がウラ返り、広場と階段のかたちをした外部が生じた。空洞を中心に旋回することになった建築は、ときには海への視覚を切り取ってスクリーンをつくり、ときには真夏の直射日光を遮るキャノピーとなり、ときには強風を遮る緩衝壁であり、ときには視界にリズムの活力を与える列柱群となり、あるいは外部へのとめどない拡がりの句読点になるかもしれない。

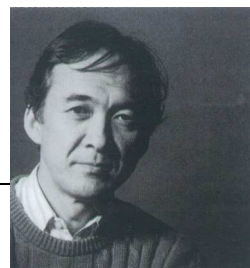
■管理・研修棟 建築データ

建築面積	1,755 m <sup>2</sup>
延面積	2,847 m <sup>2</sup>
階数	地上3階
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造+鉄筋コンクリート造+鉄骨造
外部仕上	
屋根	アスファルト防水コンクリート押え、アスファルト露出防水
外壁	押出成形セメント板 60 mmフッ素樹脂塗装、アルミスパンドレル 12 mm、コンクリート打放しハイドロサーム

■体育館 建築データ

建築面積	998 m <sup>2</sup>
延面積	994 m <sup>2</sup>
階数	地上1階
構造	鉄骨造+鉄筋コンクリート造
外部仕上	
屋根	ガルバニウムフッ素樹脂鋼板、アスファルト防水コンクリート押え
外壁	押出成形セメント板 60 mmフッ素樹脂塗装、アルミパンドレル 12 mm、コンクリート打放しハイドロサーム

●建築家プロフィール



<b>鈴木 了二</b> (すずき りょうじ)	
1944年	東京生まれ
1968年	早稲田大学理工学部建築学科卒業
1968～1973年	竹中工務店設計部
1970～1971年	楨総合計画事務所出向
1975～1977年	早稲田大学大学院建築学科修士課程(修了)
1977年	フロムナウ (from now) 建築計画事務所開設
1983年	鈴木了二建築計画事務所に名称変更
1997年～	早稲田大学教授
＜主な作品＞	
麻布EDGE, 耕雲寺, 大津町第二庁舎・町民交流施設, 佐木島プロジェクト, ほか	
＜受賞歴＞	
1969年	ヤマギワ照明器具国際指名コンペ銀賞
1990年	パリ・日仏文化会館国際設計競技二席
1995年	横浜国際旅客ターミナル国際設計競技二席
1997年	日本建築学会賞

■宿泊棟（和室棟、洋室棟）

■食堂・浴室棟



●建築概要

芦北の自然環境と親しむという施設の目的を踏まえ、一つの建物にまとめてしまうのではなく、三つの建物（和室宿泊棟、洋室宿泊棟、食堂・浴室棟）に分け、それらの間を渡り廊下で繋ぐこととした。また、急勾配の斜面を持つ敷地のふたつの丘（高さ：+39m, +31m）に各施設を配置し、海側の眺望を確保した。

各施設は周辺環境と連続し、それらに溶け込むようにイメージし、両宿泊棟を長く、しかも地形に優しく馴染みながら屈曲する形として展開し、その上に載る屋根もこれらの自然要素に溶け込むような優しい曲線の連なりとしてデザインした。

■宿泊棟（和室棟、洋室棟） 建築データ

建築面積	和室棟 1,009.96 m <sup>2</sup> 、洋室棟 1,036.18 m <sup>2</sup>
延面積	和室棟 1,524.78 m <sup>2</sup> 、洋室棟 1,609.35 m <sup>2</sup>
階数	地上2階
構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
外部仕上	
屋根	高純度フェライト系 ステンレス鋼板 t0.4
外壁	コンクリート打放し浸透性吸水防止塗布処理下地常温乾燥形フッ素樹脂クリアー吹付

■食堂・浴室棟 建築データ

建築面積	863.10 m <sup>2</sup>
延面積	1,124.14 m <sup>2</sup>
階数	地上2階
構造	鉄筋コンクリート造
外部仕上	
屋根	木造集成材格子シェル下地 コンクリート金コテ押え超速硬化ウレタン塗膜防水
外壁	コンクリート打放し撥水材塗装塗布、高純度フェライト形ステンレス鋼板スパンドル t0.4

●建築家プロフィール



<b>エリア・ゼンゲリス</b> (Elia Zenghelis)	
1937年	ギリシャ・アテネ生まれ
1956～1961年	ギリシャ・ギムナジラム、AAスクール
1961～1971年	ダグラス・ステファン&パートナーズ
1971～1975年	G. キャンデルリス、O. M. ウンガースらと個人的な設計活動を行う
1975～1987年	R. コールハウスと共に設立したOMAで設計活動に従事
1987年	エレニ・ジガンテスと共にジガンテス・ゼンゲリス・アーキテクトを設立
＜主な作品＞	
ハーグ市庁舎（オランダ・ハーグ）、ラ・ヴィレット公園（フランス・パリ）、チェック・ポイント・チャーリーの集合住宅IBA（ドイツ・ベルリン）ほか	
<b>エレニ・ジガンテス</b> (Eleni Gigantes)	
1954年	インド・ニューデリー生まれ
1985年	AAスクール卒業
1978～1986年	ダグラス・ステファン&パートナーズ、OMA等で設計業務に携わる
1987年	エリア・ゼンゲリスと共にジガンテス・ゼンゲリス・アーキテクトを設立
＜主な作品＞	
ラス・テランス・リゾート（ドミニカ共和国）、モビター・ヴェルダー集合住宅公園（ドイツ・ベルリン）ほか	

\*写真／宮井政次、熊本県広報課